



東京バプテスト神学校



〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール: seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索

## 2024 年度前期 東京バプテスト神学校受講案内

本 科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース

【願書受付】 入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。

(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)

- \* 願書に必要事項を記入の上、3月8日(金)までに郵送してください。
- \* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者は牧師の推薦が必要です。(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)
- \* 専攻科入学希望者は、教会総会の推薦が必要です。
- \* 公開講座受講者は入学手続き不要です。

【入学面接】 3月22日(金)午後6時30分

- \* 入学・聴講面接(但し専攻科は筆記試験と面接)
- \* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】

4月5日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会

【学 期】 ・前期 4月8日(月)~7月30日(火) \*補講:9月2日~9月9日

<夏期休講 8月1日(木)~8月30日(金)>

・後期 10月10日(火)~2024年2月29日(木)

<冬期休講 12月17日(火)~2025年1月3日(金)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分~8時30分

\* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分~午後3時30分

【入学金】 ・本科・専攻科 100,000 円  
・信徒リーダー養成コース 50,000 円  
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000 円

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1 課目 4 単位 25,000 円、2 単位 12,500 円  
・聴講生 1 課目 4 単位 30,000 円、2 単位 15,000 円  
・専攻科 年間 200,000 円

【設備費】 一律 10,000 円(年間)

【通信受講】 通信受講の場合、1 課目 5,000 円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。  
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。  
・ある1課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。  
・卒業生、牧師、後援会会員は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。但し単位は取得できません。

<お問合せ>(水・土・日を除く、午後3時~9時)

・TEL:03-3947-5141 ・FAX:03-3947-5145 ・E-mail: seminary@tbts.jp

## 2024 年度前期 課目案内 (\*公開講座)

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	*公開講座「箴言を説教する」	4	共通選択	小林洋一
月	ヘブル語を学ぼうⅠ:初級編	4	神学専攻科必修	城倉啓
火	*公開講座「礼拝音楽」(全7回)	2	共通選択	菊地るみ子
火	教会史Ⅰ:キリスト教史	4	共通選択	片山寛
火	旧約聖書神学概論～様々な視点から読む	4	共通選択	日高嘉彦
木	*公開講座「説教:みんなの説教」	4	共通選択	富田直美
木	神学入門～信徒の神学を求めて	4	共通選択	濱野道雄
金	*公開講座「礼拝学Ⅱ:みんなの礼拝」	4	神学専攻科必修	福永保昭
金	教会学校論～共同学習	4	教育専攻科必修	矢野由美
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅰ	4	音楽本科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅲ	4	音楽専攻科必修	山中臨在
	教会実習	6	専攻科必修	林健一学生主任
夏期	*「カルト問題とキリスト教」	2	8月12～13日	齋藤篤(日本基督教団仙台宮城野教会牧師)

## 2024 年度後期 課目案内 (\*公開講座)

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師(予定)
月	*公開講座「教会カウンセリング:みんなの相互牧会」	4	教育専攻科必修	今給黎眞弓・杉山いずみ
月	説教演習:みんなの説教	4	神学専攻科必修	永松博
火	*公開講座「マタイ福音書を読む」	4	共通選択	須藤伊知郎
火	組織神学Ⅱ	4	神学専攻科必修	朴思郁
木	新約聖書神学概論	4	共通選択	平野健治
木	ヘブル語を学ぼうⅡ:ヨナ書を読む	4	神学専攻科必修	城倉啓
金	*公開講座「教会史Ⅱ:バプテスト史」	4	専攻科必修	大西晴樹
金	教会音楽概論	4	共通選択	江原美歌子・小松澤恵
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅱ	4	音楽本科必修	山中臨在
土	作曲・編曲	4	音楽専攻科必修	十時節子
	卒業論文	6	専攻科必修	城倉啓教務主任
冬期	*「ハラスメントとキリスト教」	2	12月26～27日	城倉由布子

● 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

● 2024年度前期開講方針は神学校ホームページ(<https://tbts.jp/>)をご覧ください。

## 2024 年度前期 講義シラバス(\* 公開講座)

### \* 公開講座「箴言を説教する」 月曜日 4単位 小林洋一

バビロン捕囚後の前5-3世紀に編纂され、格言集として知られる箴言は、ヨブ記、コヘレトの言葉(含む続編のシラ書、知恵の書)と共に知恵文学に属します。箴言はその神学の根を歴史的救済論(出エジプト、契約、選び)ではなく、創造論にもち、神に与えられた命をいかに充実に生きるかをテーマにしています。箴言の「宣教」(ケリグマ)は「生きよ!」(箴4:4, 7:2, 9:6)です。「命を得る」「生きる」とは、精神の最も深い意味での生きがいと充足、魂の安息を意味します。そしてその宣教を生活化するのが「教え=格言」(ディダケー)です。今回の箴言の学びでは、「箴言と現代の宣教—箴言を説教する—」をテーマに箴言が展開する命の多層的具體から説教の種を探し、芽吹かせることを目指します。

・テキスト:『聖書 聖書協会共同訳聖書』(2018)

・参考書:J・L・クレンショウ『知恵の招き—旧約聖書知恵文学入門』(1987)/L. G. パーデュー『箴言』(2009)/G. フォン・ラート『イスラエルの知恵』(1988)

### 「ヘブル語を学ぼうⅠ:初級編」 月曜日 4単位 城倉啓

ヘブル語は見たこともない形をしています。右から左に読みます。まるで暗号、とっつきにくく感じますね。でも、とっつきにくいことは、ほぼそれだけです。ギリシャ語に比べれば文法も簡単。語彙も断然少ないのです。

この講義では旧約聖書の主要な原語であるヘブル語の全体像を把握します。辞書が引けるようになります。そして後期の原典講読の講義の準備をします。それは「暗号解読」の基礎技術を習得する学びです。

・テキスト:『超入門ヘブル語のススメ』(2023年再刷以降のもの)いのちのことば社、城倉啓著。

・参考書:『ヘブル語語彙集』(2023年)いのちのことば社、城倉啓著。

### \* 公開講座「礼拝音楽」 火曜日 2単位 菊地るみ子

私たち教会の根幹である「礼拝と礼拝音楽」について旧約聖書・新約聖書から学び、それぞれの教会の礼拝プログラムを懇談しながら神学的に考えます。多様な私たちが生き生きとしたより豊かな礼拝をささげていくために神さまからいただいた多様な音楽をどのように用いるか、積極的に会衆が参加できる礼拝に向かう備えを7回の講義で学ぶことができれば幸いです。

・テキスト:『キリスト者の礼拝—神学と実際』(キリスト新聞社)・聖書・新生讃美歌・新生讃美歌ブックレット

### 「教会史Ⅰ:キリスト教史」 火曜日 4単位 片山寛

キリスト教の歴史を、特にユダヤ教とキリスト教の関係に焦点を当てつつ考える。ユダヤ教はキリスト教の母胎でありつつ、この2000年間、常にキリスト教の最高の対話の相手であった。対話が途絶えた時代は悪い時代であり、ユダヤ教にとってもキリスト教にとっても(世界にとっても)悪いことが起った。受講者は何より、「考えながら参加する」ことが求められる。善玉と悪玉をはっきり区別したいと考える人は、歴史を学ぶのには向いていない。「わからなさ」に耐えられる人々を受講生に望む。

・テキスト:テキストは定めない。毎回、私からその日の「テキスト」を送信し、それに基づいて授業をする。

・参考書:自由。しかし、フスト・ゴンサレス『キリスト教史』上5,700円下5,500円(新教出版社)を挙げておく。

### 「旧約聖書神学概論~様々な視点から読む」 火曜日 4単位 日高嘉彦

「神はなぜ目を二つ、耳を二つ作り、口は一つしか作らなかったのか。」(ユダヤの言葉)。旧約聖書は異なる著者によって書かれ、それぞれが時代や社会の影響を受けています。そこで聖書には違いや矛盾が見られます。一方で、聖書全体を通してもう一人の著者ヤハウエの存在が透けて見えます。この神は歴史の制約の下にある人間に寄り添い、それを自らに引き受けながら語り続けました。聖書の教えが時とともに変化し、矛盾しているのは、神が愛をもって人と共に歩もうとしたからです。本講では人と神にまつわる用語や概念を取り上げ、聖書学、古代オリエント学、

教会の解釈、ユダヤ教、ポストモダン、宗教社会学などの知見を参考に、複数の目と耳で旧約聖書の豊かさを味わいます。

- ・テキスト: 講師は『聖書 聖書協会共同訳』を用います。受講者は各自の聖書でかまいません。
- ・参考書: 授業で紹介します。本講はYoshihiko Hidaka, “Theology of the OT; Reading the OT from Various Perspectives”, TBTS, 2014 (タイ語)の第2部・第3部を参考にしています。

#### \* 公開講座「説教: みんなの説教」 木曜日 4単位 富田直美

テキスト『説教を知るキーワード』を読み進めながら、さまざまなキーワードに込められた具体的なことについて学びます。さらに説教の種類や特徴を理解し、説教準備の手順を知り、聖書本文から主題を見つけて、簡単なアウトラインが作成できるようになることを目指します。受講者が神さまから与えられている役割やニーズに応じて多様な説教がイメージできるように、説教集にまとめられた「説教」を参考に、感じたことを分かち合いながら進めます。

- ・テキスト: 『説教を知るキーワード』平野克己著(日本キリスト教団出版局)
- ・参考書: 『おはなしのおくら』水野誠著、『天国の種』バーバラ・ブラウン・テイラー著、『地べたの神』渡辺英俊著

#### 「神学入門～信徒の神学を求めて」 木曜日 4単位 濱野道雄

神学とは何か、一緒に考えていきます。特に、バプテストでは勿論、今後、日本の教会でより求められる「信徒の教会」に仕える学としての神学を学びましょう。神学は近代以降、聖書神学、歴史神学、構成(組織)神学、実践神学という4分野に分けられることが多くあります。そう分けることの弊害も考えつつ、便宜的にその分類に沿って概要、トピックス、課題を概観していきます。授業では、前回授業の応答への再応答、講義、質疑応答、神学テキスト講読、ディスカッション、授業への応答を毎回行います。単位取得者には、毎回の神学テキストから、その要約と考察を20分程度発表してもらいます。「信徒の神学を求めて」、できるだけ分かりやすく語り合えれば幸いです。

- ・テキスト: 基本的に毎回、前の回までに様々な神学テキストを指定し、コピーを配布します。

#### \* 公開講座「礼拝学Ⅱ: みんなの礼拝」 金曜日 4単位 福永保昭

各人の礼拝体験を確認しつつ、教会の週報その他の印刷物を持ちより、礼拝とは何かを懇談形式で考察していく。また礼拝が、教会形成に結びつくみんなの礼拝としての在り方についても考える。奉仕者の広がり、また各行事や二つの礼典(バプテスト式、主の晩餐式)などについても具体的に事例を持ち寄りながら、その準備と関わりについて考え、礼拝を作ることに向かいたい。

- ・参考書: 『今、礼拝を考える』(越川弘英)、宣教研究所式文等。

#### 「教会学校論～共同学習」 金曜日 4単位 矢野由美

バプテスト教会は礼拝と教会学校を中心に据えて教会形成を行ってきました。各教会の、教会学校に求めるイメージには違いがあります。しかし、共通するのは、そこに集うそれぞれが対話を通して共に聖書から聴いていくこと、そのことを大切にしながら、豊かな共同学習、分かち合いの場を見出していきたいと思います。今回も4名のゲストの方々から語っていただいて、より対話の広がりを求めたいと願います。

- ・テキスト: 『教会学校ハンドブック』『いま、バプテストを生きる』『聖書教育誌』(連盟出版)
- ・参考書: 『キリスト教教育事典』(日本キリスト教団出版局)『人生の四季』(日キ版)

#### \* 公開講座「合唱」 土曜日 2単位 山中臨在

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさそしてその意義を、合唱を通して学ぶ。また、神学校の入学式、卒業式、演奏会等で神学校聖歌隊として奉仕する。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。オリジナル曲を含めた聖歌隊用アレンジ曲やオラトリオ合唱曲などを歌う。

- ・テキスト: 授業にて楽譜を配布。数百円程度の実費をお支払いください。